

公安委員会定例会議(第29回)の開催状況

第1 日時 令和5年11月8日(水)
午後2時06分 ~ 午後4時58分

第2 出席者 五葉委員長、佐伯委員、小野委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 佐伯委員説示

本日は、今秋の叙勲で文化勲章を受賞された塩野七生さんの「ギリシア人の物語」という作品を紹介したいと思います。ギリシアのアテネは、ヨーロッパ文明における民主制発祥の地といわれ、今から約2500年前、指導者「ペリクレス」の下、男性市民全員参加の民主制を実現しました。ある日、公務中のペリクレスのもとに男が現れ、非難を浴びせまします。しかし、ペリクレスは一言も言い返さず、怒った様子も見せませんでした。男はしつこくつきまとい、灯りで道を照らす召使を一人連れて帰宅中のペリクレスに向かって数々の非難中傷を浴びせ続けます。家に着いた後、ペリクレスは初めて口を開き、召使に対し、「その灯りを持ってこの人を家まで送り届けてあげるように」と言ったのです。この対応について塩野さんは、「ペリクレスが男に一切応じなかったのは、言論の自由を尊重したからではなく、言論の自由を乱用する愚か者に対する痛烈な軽蔑ゆえの振る舞いである。怒りもしなかったのは、この種の自由を乱用するほどの水準にまで降りていくのを拒否したからにすぎなかった。怒りとは相手を対等であると思うから起こる勘定なのだ」と述べています。

また、民主制と衆愚制のリーダーの違いについても考察し、「民主制でも衆愚制でもリーダーは存在するが性質が違う。民主制のリーダーは民衆に自信を持たせることができる人、つまり「誘導する人」であるのに対し、衆愚制のリーダーは民衆が持っている将来への不安を煽るのが巧みな人、つまり「扇動する人」である。前者はプラス面に光を当てながらリードしていくタイプだが、後者はマイナス面を暴き出すことで不安を煽るタイプのリーダーになる」と述べています。この考察は実に秀逸だと思います。

現代は、人を貶める発言が渦巻き、特殊詐欺は不安ビジネスとして人々の不安に付け込んでいきます。小説家のあさのあつこさんの言葉に、「絶望のストーリーに飲み込まれるな」というものがありますが、我々民衆が持っている絶望や不安のストーリーを安心に変えるのが警察の使命であり、それを警察職員の皆さんは地道に、時に果敢に遂行されており、本当に感謝しております。今後とも、社会を覆っている不安や絶望を希望に変える取組をお願いできたらと思っています。

2 決裁事項

- (1) 公安委員会定例会議の会議録
総務室から、令和5年第28回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。
- (2) 公安委員会宛て苦情の受理
総務室から、公安委員会宛て苦情の受理について伺いがあり了承した。
- (3) 犯罪被害者等早期支援団体の規則に基づく書類提出
総務室から、犯罪被害者等早期支援団体の規則に基づく書類提出について伺いがあり了承した。
- (4) 指定自動車教習所に関する報告
交通部から、指定自動車教習所に関する報告について伺いがあり了承した。
- (5) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞
交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、14件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

3 報告事項

- (1) 高速道路交通警察隊の活動状況
交通部長から、高速道路交通警察隊の活動状況について報告があった。
委員から、「高速道路上で事故やトラブルが起きると、退避場所がなく不安になることから、迅速な対応による安全確保及び最近増加傾向にある自動運転の車が高速道路上で安全に走行できるよう関係機関と連携した道路環境の整備に努めていただきたい。また、煽り運転についても積極的に取り締り、ドライバーに対する指導に努めていただきたい」との発言があった。
委員から、「松山以南は片側1車線であるため、煽り運転が一番心配である。真面目に安全運転をしているドライバーが怖い思いをすることがないように、煽り運転に対する的確な対応をお願いしたい」との発言があった。
委員から、「交通事故発生時の危険性を下げるためには速度の抑制が重要である。重大事故を抑止するためにも積極的な取締りに努めていただきたい」との発言があった。
- (2) テロ対策愛媛パートナーシップ推進会議総会の開催
警備部長から、テロ対策愛媛パートナーシップ推進会議総会の開催について報告があった。
委員から、「本県は全国屈指の海岸線を持ち、原子力発電所も抱えていることから、講習会の開催を始めしっかりとテロ対策に取り組んでいただきたい」との発言があった。
委員から、「テロは別の世界の話と思いがちだが、現実にはいつでも発生するか分からない。県警察主導による官民連携の取組を今後も推進いただきたい」との発言があった。
委員から、「今後、大阪万博や本県における植樹祭の開催も予定されていることから、引き続きテロ対策を含め警備の強化に取り組んでいただきたい」との発言があった。

- (3) 苦情の受理及び処理状況
総務室から、苦情の受理及び処理状況について報告があった。
- (4) 令和6年愛媛県警察運営目標（案）の策定
警務部から、令和6年愛媛県警察運営目標（案）の策定について報告があった。
- (5) 訟務案件に関する報告
警務部から、訟務案件に関する報告があった。
- (6) 令和5年度全国警察柔道・剣道大会の結果
警務部から、令和5年度全国警察柔道・剣道大会の結果について報告があった。

4 その他

本部長から、「委員説示の中で、希望で人を導いていく民主制のリーダーと不安に付け込んで煽る衆愚制のリーダーに関するお話をいただいた。我々の扱う仕事は、犯罪や交通事故等、人々の不安に関する業務が多いことから、施策に取り組む際、あるいは職員の業務管理を行う際も、「これをすると危険ですよ」などとネガティブな心情に訴えかけることが常套手段となっているという点で、衆愚制のリーダーと類似点がある。しかし、ネガティブリストの提示ばかりでは、モチベーションを下げるリスクもあることから、むしろ、「こうしたほうがうまくいくし安心だよ」とポジティブな導き方で人を動かす工夫も行っていきたい」との発言があった。

以上